

森林整備・治山事業促進議員連盟 「緊急決起大会」の概要 (令和元年11月7日 於 自民党本部)

1 開催主旨:

昨今の激甚な災害の度重なる発生も踏まえ、国民の暮らしを支え、山村の存立基盤となる森林・林業の振興、緑の国土強靱化に向けた山地災害防止や災害に強い森づくりなどを推進するための林野公共事業の予算確保が不可欠であり、全力でこれに取り組む必要があるため、森林整備・治山事業促進議員連盟において「緊急決起大会」を開催。

2 日 時: 令和元年11月7日(木) 16時00分～

3 場 所: 自由民主党本部 901 号室

4 出席者: 山口俊一議連会長はじめ**国会議員57名**(代理出席含め**125名**)

※来賓として、二階幹事長、塩谷農林・食料戦略調査会長、西川特別顧問、野村農林部会長、金子林政対策委員長が御出席

5 団 体:

- (一社)日本林業協会 ○全国森林組合連合会 ○(一社)日本林業経営者協会
- (一社)日本治山治水協会 ○日本林道協会 ○日本造林協会
- (一社)全国森林土木建設業協会 ○(一社)日本林業土木連合協会
- 全国水源林造林協議会連合会 ○全国国有林造林生産業連絡協議会
- 全国素材生産協同組合連合会 ○全国山林種苗協同組合連合会

各地方組織

約300名

6 首 長: 真砂 充敏 和歌山県田辺市長、久喜 邦康 埼玉県秩父市長

7 概 要:

山口俊一議連会長の挨拶の後、二階幹事長はじめ来賓挨拶につづき、真砂 田辺市長、久喜 秩父市長、村松 全国森林組合連合会会長、嶋崎 全国森林土木建設業協会会長、新谷 日本林業土木連合協会会長から要望陳述。決議文が採択され、最後に田村憲久議連幹事長による「がんばろう 三唱」で盛会のうちに終了。

緊急決起大会の様子

◆開会、来賓等ごあいさつ



山口議連会長



二階幹事長



西村官房副長官 (議連事務局長)



野村農林部会長



金子林政対策委員長



田野瀬事務局次長

◆現場の声



真砂 田辺市長



久喜 秩父市長



村松会長 (全森連)



嶋崎会長 (全森建)



新谷会長 (林土連)

◆会場の状況



団体関係者



がんばろう三唱
(田村議連幹事長)

現場の声／来賓御挨拶等

■真砂 充敏 田辺市長(和歌山県治山林道協会会長)

- 田辺市は森林が9割の森林市。平成23年の紀伊水害では3日で2,000mmに達し、大規模崩壊などにより死者行方不明者が61名。明治22年の大水害では死者行方不明者が297人。
- 民有林直轄治山事業をやってもらい、対策は進んでいるものの道半ば。
- 本年、上秋津地域でも大規模崩壊が発生し、重要なインフラが寸断され、生活に大きな支障。
- 全国的に災害に対する早期の対応望まれ、そのためには予算の確保が不可欠。

■久喜 邦康 秩父市長(埼玉県 治山林道協会会長)

- 埼玉でも川上を中心に大崩落、氾濫が発生。斜面が崩落し林業にも支障。
- コンクリートのダムが効果を発揮したが、「緑のダム」でもって川上、川下を守っていく必要。
- 全国に先駆けて森林経営管理法を活用した取組を実施。国土強靱化、林業成長産業化に向けた健全な森林・林業のための予算確保の応援を。

■村松 全国森林組合連合会会長

- 森林経営管理法、森林環境税が創設され、機運が高まっている。税は額は少ないものの、森林・林業を推進する大きなきっかけ。150万人の系統が先頭にたってやっていく覚悟。
- 崩壊や風倒木など、森や山が悪いと言われ悔しい。山も被害者。山は国土保全や水源涵養など大きな役割を果たして頑張っている。森林整備、国土強靱化に向けて御支援お願いしたい。

■嶋崎 全国森林土木建設業

- 災害発生時には、多くの道路が寸断され、集落は孤立し、高齢者を始め地域住民が取り残される。
- 林道は、迂回路として地域の生命線として大きな役割を發揮し、今般の災害時においてもその機能を發揮。国土強靱化終了後も予算確保を。

■新谷 日本林業土木連合協会会長

- 同時多発的な災害が増加し、全国の協会員が応援態勢を組んで、被災地の災害復旧に対応。
- 他方、林野公共予算の減少に伴い、建設業者も人も減少し、突発的な災害への対応や、近隣地への即座の応援をしたくても、人も資機材も十分に整っておらず、迅速な対応に支障。
- 山を守る技術者の確保・維持のため、一過性でなく、安定的な林野公共予算の確保が何より必要。
- 補正は勿論、3か年緊急対策終了後においても、更なる国土強靱化のための予算措置が十分に実施されることを強く要望。

◆山口 議連会長

- 安全・安心、元気な山村を取り戻すべく、総力を結集して国土強靱化に向けた予算の確保が最重要課題。自ら一人一人が声をあげていくことが大きな力に繋がるので、皆で頑張っていこう。

◆二階幹事長【来賓】

- こうした事態に対して我々政治家が、国民の皆さんの安全・安心な暮らしの実現という願いを叶えていかねばならない。全国からお集まりの地元で有力な皆さんが、もっと地元の国会議員を連れてきて、もっと会場を埋め尽くそう。林野庁関係予算、みんなで頑張ろうじゃないか。

◆野村農林部会長【来賓】

- 二階本部長を中心に国土強靱化対策が進められている。被災された方々が一日も早く普通の生活に戻れるように政府一丸となって全力を尽くしていく。

◆金子林政対策委員長【来賓】

- 二階幹事長から、国土強靱化、林業成長産業化に向けて叱咤激励をいただき、野村先生、塩谷先生と相談し、林政対策委で議論し取組を進めてきた。予算確保に向けて頑張っていきたいと思います。

◆西村官房副長官(事務局長)

- 今回の災害では山林の被害も非常に大きい。国土強靱化対策をしっかりと進めていく必要があり、二階幹事長が旗振り役をされ大変心強い。取組に向け予算確保が重要。治山・森林整備の推進に向けて尽力する所存。

◆田村 議連幹事長【がんばろう3唱】

- 我々が国民の皆様の命と生活を守る。そのためには山を守っていかねばならない。森林・治山の予算確保、国土強靱化緊急対策の延長等の実現に向けて頑張っていこう。

令和2年度当初予算等における林野公共事業予算に関する緊急決議

我が国は、地形が急峻であり、地震や火山活動も活発であることに加え、梅雨や台風時期に豪雨が集中すること等から、災害を受けやすい宿命を負っている。このような自然条件下において、森林整備・治山事業は、明治以来一貫して荒廃した森林の再生に取り組み、安全・安心な国土基盤の形成を通じて我が国の豊かな発展を支え続けてきた。

特に、近年、地球温暖化の影響等により局地的豪雨が増加する中、昨年西日本七月豪雨、台風第二十一号、北海道胆振東部地震などの度重なる災害により、大規模かつ多数の山腹崩壊や土石流等による被害が発生し、平成最悪の未曾有の大災害となった。本年においても、山形県沖地震、梅雨前線豪雨等に加え、台風第十号、第十三号、第十五号、第十七号及び第十九号の一連の台風等による全国規模での河川の氾濫、山腹崩壊、林道等の決壊に伴う集落の孤立、風倒木によるインフラ・ライフラインへの二次的被害等、広域にわたる大規模な災害が多発し、今もなお被災地は、被害の拡大等の重大な危機に瀕している。

このような危機的状況を踏まえ、復旧対策はもとより、国民の安全・安心な暮らしを実現するため、事前防災・減災や災害に強い健全な森林づくりによる緑の国土強靱化を一層強力に推進していかねばならない。

あわせて、今年森林経営管理法の施行や森林環境税・森林環境譲与税の制度化など「森林・林業改革」の元年となる重要な節目を迎え、林業イノベーションを推進するとともに、主伐の増加に対応する確実な再造林をはじめ、森林資源の循環利用を通じた林業の成長産業化の実現に向けた路網整備の推進や、国際的に表明した温室効果ガスの削減目標を達成するための森林吸収源対策を推進することが肝要である。

以上を踏まえ、森林整備事業及び治山事業については、全力でこれらに取り組む必要があるため、森林整備・治山事業促進議員連盟は、必要な予算を当初予算等で確実に措置すべく、財政当局をはじめとする政府に対し次の項目について特に強く要望する。

- 一、 国民の安全・安心な暮らしの実現に向けて、荒廃山地の復旧対策はもとより、被害の発生を未然に防止する事前防災・減災対策を強力に推進するため、治山事業予算の拡充を図ること。
- 一、 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の実現に向けて、森林吸収源対策の推進に不可欠な間伐、木材の安定供給を効果的・効率的に行う幹線となる林道等の路網整備や主伐後の確実な再造林など多様で健全な森林づくりを強力に推進するため、森林整備事業予算の拡充を図ること。
- 一、 来年度が最終年度となる「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が確実に措置されるよう所要の予算を別枠で確保すること。
あわせて、今般の一連の台風等により甚大な被害が発生した状況を踏まえ、補正予算等の緊急の財政措置により、山地災害や林道被害、風倒被害等の早期の復旧整備に向けた必要な措置を講じるとともに、3か年緊急対策の継続・拡充等によって、国土強靱化に向け林野公共事業予算を飛躍的に増加させること。
- 一、 森林環境譲与税は、自然的・社会的条件が不利な森林の整備を推進するという新たな需要に対応するものであることから、既存の財源の代替とならないようにするとともに、引き続き、林野関係予算がめり込むことのないようにすること。

令和元年十一月七日

自由民主党 森林整備・治山事業促進議員連盟